VIPセキュリティ講座

第6回「セキュリティ観点から考える車両保険との上手なつきあい方」

講師は…
オートラウンジ代表 **石原武典**

輸入車、国産車問わず、あらゆるクルマへのカーセキュリティインストールを行ってくれる、日本国内でも屈指のカーセキュリティプロショップ。代表の石原氏は、安全の達人であるとともに、B級グルメのスーパー案内人でもある。興味のある人は、教えてもらおう。ベース車購入はもちろん、様々なドレスアップが可能。

●オートラウンジ
☎06・6957・7775
http://www.auto-lounge.jp
〒534-0013
大阪府大阪市都島区内代町3-10-15

今月のテーマはカーセキュリティとまったく関係ないようで、かなり深いつながりのある車両保険。セキュリティという視点から、車両保険の意義や役割、注意点、上手な選び方をプロが指南。少々、車両保険の話にかたよっていますが、そこはご愛嬌のほどを。

3月26日（土）

クルマを購入する際、必ず入る保険は自動車損害賠償責任保険＝自賠責保険、またの名を強制保険。そこでカバーしきれない賠償責任をサポートするのが、任意保険。入っても入らなくても個人の自由ゆえ「任意」なのではありますが、これまでに**対人事故の賠償額が3億8281万円という判決例**も。いちクルマ乗りとして、対人と対物の賠償保険（無制限）への加入は最低条件として考えるのがベストです。

では、車両保険は何かと言うと、そんな任意保険のひとつ。その特長は「**自分のクルマの損害を補償**」するもの。クルマが損害してしまうケースはいろいろありますが、ダントツで一番多いのは、単独事故という。そのほか、いたずらによる損害、カミナリや洪水などの天災系、そして、これまでたび話題にのぼった車両盗難…。車両保険はそうしたケースに遭いキズついた愛車の修理代を補償してくれるわけだ。その詳しい内容は、保険会社や内容によってまちまちなので、それ以上知りたい人は、各ホームページや資料を参照して下さい！

どちらか片方ではなく どちらもが「正解」

そんな車両保険とカーセキュリティ。そこにはどんな関係がある？

「イモビライザーを純正装備しているクルマを対象に、車両保険の保険料を割り引く割引特約がありましたが、今ではどの保険会社でもほとんどなくなった状態。つまり、**カーセキュリティをつけているからといって、保険料は安くなりません**」と、石原氏。それでも、クルマを守るという点で、カーセキュリティと車両保険は「どちらも必要」と答える。

「僕らにとって、一番防ぎたいのは車両盗難。もし窃盗団の手にかかっても、カーセキュリティをつけていれば、警報がなるしエンジンスタートもカットできるから、乗り逃げによる車両盗難はかなり防げる。それでは次にカーセキュリティをつけずに、乗り逃げされてしまった場合はどうなるか。車両保険に入っていれば、保険料分は戻ってきますが、その被害の具合によっては全損扱いとなり、箱換えしなくてはけなくなるかもしれない。つまり、はた目には同じクルマでもまったく別のクルマ。ちょっとクサイのですが**両保険に『想い出』を補償する特約なんてないんです**」

車両保険はあくまで 最後の切り札！

サイアクはカーセキュリティと車両保険、どちらもない場合。**もしローンが残っていたら、クルマがなくなっても払い続けなくてはいけないし**、くクルマが見つかっても、**修理代は自腹**。本当にサイアクである。車両に加入していれば、ローンの支払いを補償してくれる特約もあったのに…。

「実際、最近180系クラウンオーナーの方が被害に遭われましたが、セキュリティをつけていたため、窓ガラスが割られただけに抑えられた。車両保険はかけ捨てですし、やたらに使えば保険料が上がってしまうため、敬遠してしまう気持ちもわからなくないです。カーセキュリティが最前線でくい止めるものだとしたら、車両保険はいわば、最後の切り札のようなもの。この2つが愛車を『もしも』から守ってくれるはず！」

保険会社選びは重要

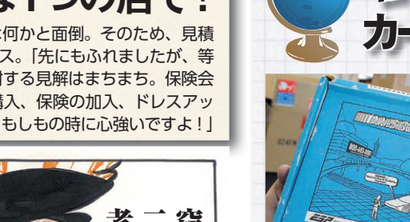
テレビCMやインターネットで見かける車両保険の多くは「通販型」と呼ばれるもの。担当者を立てないため、その分安いというのが大きなメリット。しかし、社外パーツへの交換や加工を伴うVIPカーオーナーの場合は、肌に合いにくいとも。「加工部分の見解は保険会社によってまちまち。また、違法改造車は車両保険に入れないため、愛車の仕様がどうなのか一つ一つ担当者と確認することが大切。ドレスアップの見積書や明細書も必ず保管しましょう」

↑車両保険にとって、こうした加工は判断基準があいまいになりやすい。「愛車の状態を細かく写真に撮っておくといいかも」

専門家のアドバイス❸ Advice

購入前に車両料率を調べる

↓2009年時点で、Y33シーマの車両クラスは9。相当な思い入れと気合いがないと乗れません



車両保険の保険料は加入者の年令とともに、選ぶクルマによっても変わってくる。それが車両料率。過去の事故頻度やその修理代などいろいろなデータに基づいて毎年更新されるもの。下の表を見ると、車両クラス1と9では、約4倍も保険料が高くなるのがわかる。VIPカーは高級セダンだけにおおむね、車両クラスも高い…。「盗難率も車両料率に加わっています」

↓表は2009年のデータを下にVIPカー主要車種を抜粋。車両料率はグレードによって大きく変わってくるため、平均値を掲載。ちなみに160系アリストはターボが8、NAは7。HG50プレジデントが最高クラスをマーク。車格とともに事故率も高かった!?

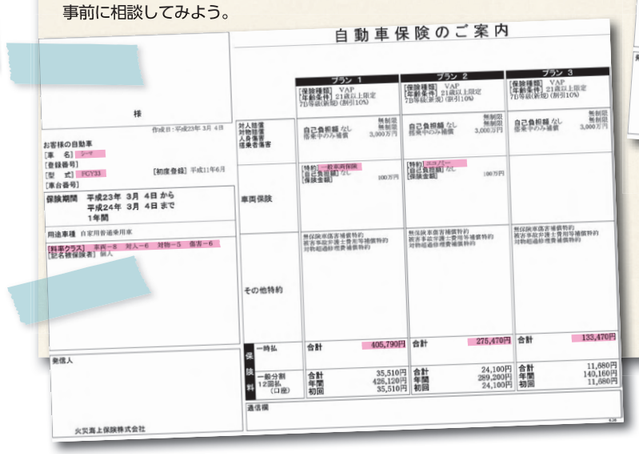
車両クラス	車両料率	主な車種
1	1.0倍	
2	1.2倍	
3	1.4倍	
4	1.7倍	200系クラウン
5	2.0倍	180系クラウン
6	2.5倍	30系セルシオ／170系マジェスタ／GS
7	3.0倍	40・50系センチュリー／LS／F50シーマ／Y33・34セド・グロ
8	3.6倍	20系セルシオ／160系アリスト／インフィニティQ45
9	4.1倍	HG50系プレジデント／Y33シーマ

専門家のアドバイス❷ Advice

専門家のアドバイス❶ Advice

等級の行方が重要

車両保険の保険料は、1～20段階に分かれる等級が指針となる。スタートは誰でも6等級だけど、年令によって保険料が加算されてしまう。18～25才の間は最大30%も割り増し…。基本的に車両保険は1年無事故（保険を使わない）だと、等級は1ランクアップ。逆に使うと3ランクダウン。その損害は保険を使った方がいいのか、自腹で直した方がいいのか。どちらがトクかを考える必要があり。その一方で等級が優遇されるケースもあるため、事前に相談してみよう。



これは、大阪市内のとある総合保険代理店に、実際に作成してもらった自動車保険の見積もり。オーナーは21才、愛車はY33シーマ、保険金額は100万円でシミュレーション。

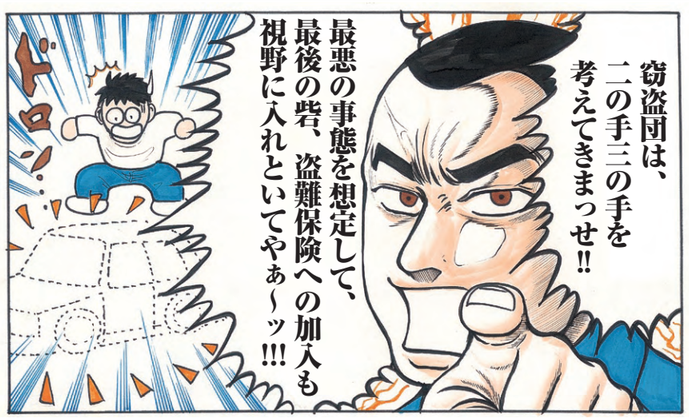
プラン1は車両保険あり、プラン2も車両保険あり（補償内容限定あり）、プラン3は車両保険なし。まずは、車両保険のあるなしで保険料が大幅に異なっている点に注目。これで何かドレスアップができるんじゃ…と思える額ですが、クルマがなくなってしまえば元も子もないのである…。

次に6等級（上）と7等級（下）の保険料の違いに注目。その額はたかが1等級とあなどれない。ちなみに8等級になれば30%割引、20等級になれば保険料は60%割引！

専門家のアドバイス❹ Advice

クルマ、保険、ドレスアップは1つの店で！

専門家のアドバイス1～3を見てもらった通り、車両保険は何かと面倒。そのため、見積もりを作成した総合保険代理店の担当者は次のようにアドバイス。「先にもふれましたが、等級や料率は保険会社で統一されていますが、ドレスアップに対する見解はまちまち。保険会社に愛車の価値を正当に判断してもらうためにも、クルマの購入、保険の加入、ドレスアップはすべて一つのお店で行うと、いろいろとスムーズ。しかも、もしもの時に心強いですよ！」



世界のおもしろカーセキュリティ

アメリカ (U.S.A)

ESP インビジビーム+

「これはしゃべるセキュリティのさきがけとなったモデル。フィールドセンサーを搭載しているのですが、連続して3回不審な動きを感知すると『5、4、3、2、1…』とカウントダウンが始まり、最後にサイレンが鳴るというもの。僕が好きなのは、ドアが開いていたら『チェックドア』、閉めると『サンキュー』と言ってくれるところ。チップを換えればラップ調にもできたり、何よりもめっちゃいい声。しかし、誤作動が多く延々としゃべりすぎた結果、回路が焼けて故障なんていうトラブルが頻発して、製作会社はつぶれてしまったようです。当時の価格は399ドルでしたが、今では伝説のセキュリティとしてプレミアがつき、ヤフオクで数十万円で取り引きされたこともあります」。